

参考資料 1-3



ツーリズム EXPO ジャパン 旅の祭典 in 沖縄 報告書

2020年12月

日本酒蔵ツーリズム推進協議会

1. ツーリズム EXPO ジャパン 2020 開催概要

(1) 開催概要

① 開催名

ツーリズム EXPO ジャパン 旅の祭典 in 沖縄

② 主催

公益社団法人日本観光振興協会、一般社団法人日本旅行業協会、
日本政府観光局 (JNTO)

③ 開催日時

- ・ 2020年10月29日(木) 15時00分～18時00分
- ・ 2020年10月30日(金) 10時00分～18時00分
- ・ 2020年10月31日(土) 10時00分～18時00分
- ・ 2020年11月1日(日) 10時00分～17時00分

④ 会場

沖縄コンベンションセンター ならびに周辺施設

⑤ サイト

<https://www.t-expo.jp/>

(2) 来場者情報

① 来場者数

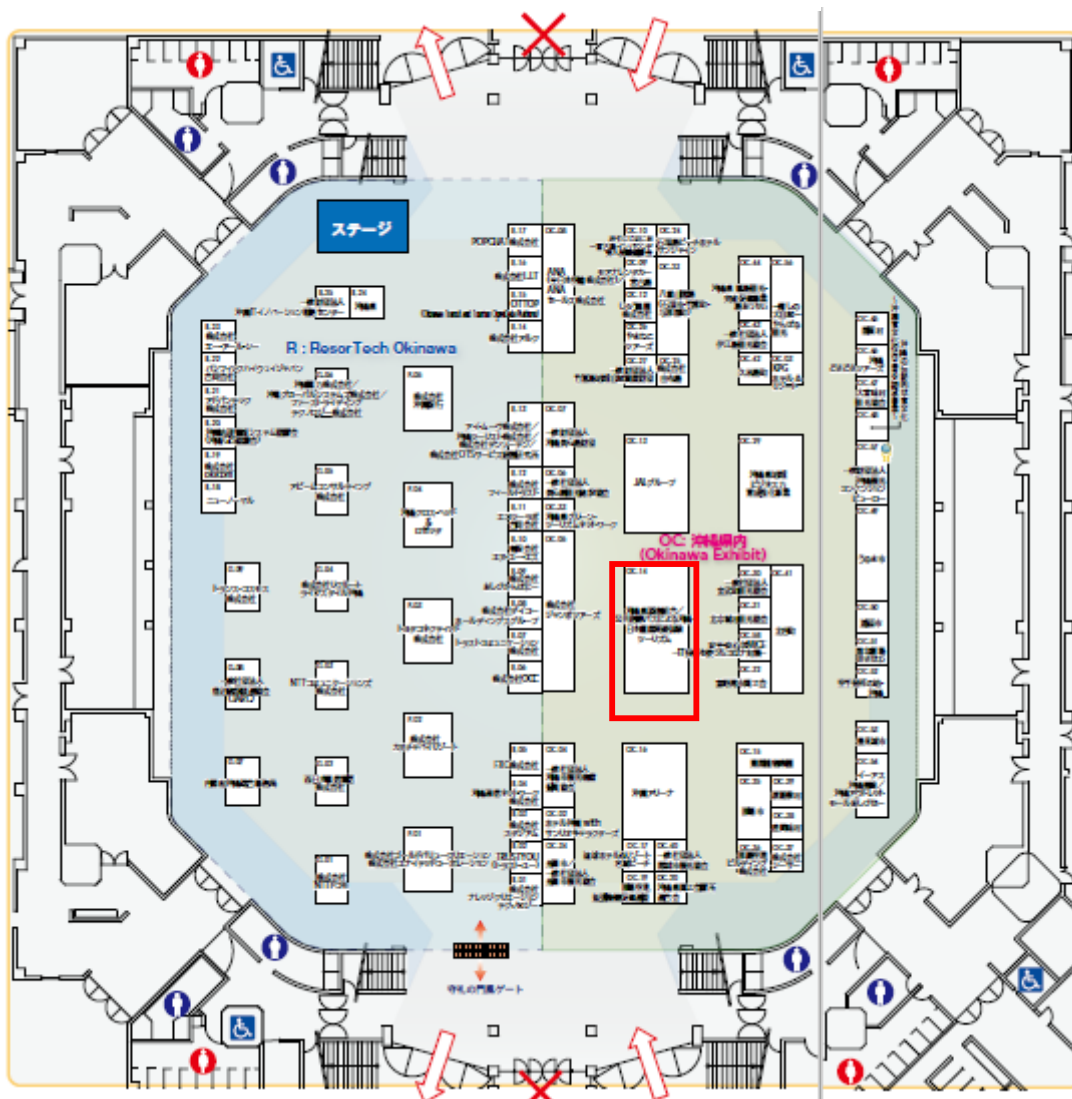
- ・ 2020年10月29日(木) 晴れ 2,197人
 - ・ 2020年10月30日(金) 晴れ 2,438人
 - ・ 2020年10月31日(土) 晴れ 9,094人
 - ・ 2020年11月1日(日) 晴れ 10,445人
- 合計 24,174人

(参考: 2019年 合計 151,099人、会場 インテックス大阪)

2. 実施内容

(1) 「酒蔵（泡盛）ブース」エリア

- ① ブース出展者
沖縄県酒造組合
- ② 出展場所
沖縄コンベンションセンター内



③ 掲出物

ブース外側は、泡盛を製造している沖縄県内の47酒蔵情報をエリア別に紹介するポスターを掲示した。地域別に特徴を記載することで、それぞれの特色・違いについて案内することができた。内側には泡盛と沖縄県の歴史・文化などとの関わりについて掲示し、泡盛は沖縄の歴史に深く関わっていることを周知することができた。また泡盛マイスターの前森氏監修のもと、泡盛と自宅で作ることができる料理のペアリング情報を掲示することで、より身近に感じてもらえるようPRすることができた。



(2) 「公共路線バスによる沖縄・日本遺産周遊体験ツーリズム事業」エリア

① ブース出展者

株式会社 JTB 沖縄

② 出展場所

「酒蔵（泡盛）ブース」内

③ 掲出物

日本観光振興協会事業「公共路線バスによる沖縄・日本遺産周遊体験ツーリズム構築事業（日本財団からの支援にて実施）」での取り組みを紹介するパネルを掲出した。昨年度登録された沖縄県の日本遺産『琉球王国時代から連綿と続く沖縄の伝統的な「琉球料理」と「泡盛」、そして「芸能』』の紹介し認知度向上を目指した。また、公共交通機関を活用して日本遺産を巡るモデルコースの案内・アプリの紹介を行い、今後の事業展開に向けて周知を図った。



(3) 「沖縄県産肉×琉球泡盛フェスタ」エリア

① ブース出展者

沖縄県畜産振興公社

出店飲食店：我那覇豚肉店、焼き肉もとぶ牧場、おきなわポークビレッジ

沖縄県畜産振興公社物販ブース、沖縄県酒造組合

② 出展場所

沖縄コンベンションセンター展示場東口前



③ 概要

沖縄県内でも人気店が出店。牛肉・豚肉の美味しい料理を提供した。泡盛販売コーナーではボトル・ドリンク販売をし、沖縄県産肉と泡盛の組み合わせを堪能・提供することができた。



(4) 泡盛で製造した「アルコール消毒液」

① 概要

沖縄県内で泡盛を製造している酒蔵のうち、高濃度エタノール液（アルコール消毒代替品）を製造している酒蔵にご協力頂き、泡盛で製造したアルコール消毒液を来場者に配布した（数量限定）。また出展者には大きなサイズを事前に配布し、各ブース内に設置し来場者・出展者の手指消毒のため、活用頂いた。

A) 来場者向け

- ・ 泡盛のアルコール消毒液 100ml 1本
- ・ 詰め替え用容器
- ・ 案内チラシ等

B) 出展者向け

- ・ 泡盛のアルコール消毒液 720ml 2本
※製造瓶によって配布本数が異なる
- ・ 詰め替え用容器
- ・ 案内チラシ

② 配布日時

10月29日（木）、30日（金）、31日（土）、11月1日（日）

③ 配布数（来場者向け）

10月29日（木） 500部

10月30日（金） 500部

10月31日（土） 1,000部（午前500部/午後500部）

11月01日（日） 1,000部（午前500部/午後500部）

④ 協力酒蔵

配布製品の選定は沖縄県酒造組合のご協力のもと、航空機内に持ち込み可能なアルコール濃度70%未満のものに限定し、以下7酒造所に依頼した。

- ・ 株式会社久米島の久米仙
- ・ 株式会社龍泉酒造
- ・ 忠孝酒造株式会社
- ・ まさひろ酒造株式会社
- ・ 有限会社比嘉酒蔵
- ・ 有限会社八重泉酒造
- ・ 有限会社山川酒造

⑤ 配布場所

沖縄コンベンションセンター 西入口





**瓶からスプレー容器に
移し替えていただいた後、
手指の消毒などにお使い下さい。**

本製品は沖縄の泡盛酒造メーカーが製造した
高濃度エタノール製品です。
医薬品や医薬部外品ではありませんが、
消毒用アルコールの代替品としてご利用いただけます。
今回の沖縄でのツーリズムEXPOジャパン開催に際し、
沖縄県酒造組合様・沖縄観光コンベンションビューロー様
のご協力を得て、配布しております。

公益社団法人 日本観光振興協会
JAPAN TRAVEL AND TOURISM ASSOCIATION



(5) 試飲イベント

業界日（10月29日・10月30日）、一般日（10月31日・11月1日）ともに、沖縄県酒造組合中央会職員、泡盛の女王、泡盛マイスターから説明を聞きながら試飲を実施。それぞれの特徴を聞きながら試飲することができ、来場者から大変好評であった。



3. 総評

今回の「ツーリズム EXPO ジャパン 旅の祭典 in 沖縄」は、初めての沖縄県開催となったため、地域色を生かした出展を心がけた。沖縄県の特産品「泡盛」は、沖縄県内で離島も含む47の酒蔵が製造しているが、全てが出そろったことはなく、泡盛ファンの方も、そうでない方も楽しめる貴重な機会となった。

新型コロナウイルス感染症の影響により、海外旅行はもちろん、国内観光旅行にも制限がかかり、地元を巡る「マイクロツーリズム」が提唱された。今回の出展により、沖縄県民にとって泡盛、地元沖縄の魅力を再発見する場を提供することができたのではないかと考える。また県外からの来場者には、これまでの泡盛の固定概念を打破し、新しい泡盛の魅力を伝えることができたと思う。そのひとつに、泡盛マイスターや泡盛の女王から、各酒蔵の特徴や泡盛に合う料理の紹介をすることで、より身近に感じてもらえるよう工夫した。

泡盛の歴史、酒器、琉球料理、空手との関わりを学びながら試飲することで、沖縄県における泡盛の重要性・歴史的価値を認知する場となった。日本酒蔵ツーリズム推進協議会が目指す「地域全体に継続的な経済波及効果を生み出し、地域活性化に貢献」するための、第一歩となったのではないかと考える。今後は泡盛をきっかけに沖縄県内を観光・周遊し、継続的に楽しめるよう魅力・情報の発信に取り組む。